

そ お

曾於 議会だより

2008.11

No. 14



美しい ^{もり} 森林づくり 事業	2
市政を問う 一般質問	4
委員会報告	13
ご冥福を祈って	16

大隅北小運動会

事業 苗木補助



9月定例会は、9月9日に開会し、9月30日に閉会しました。

今議会では、平成20年度予算補正や平成19年度水道事業決算の認定などの報告1件、承認案1件、諮問1件、同意案3件、議案14件、陳情2件、発議4件を審議・議決しました。

◎ 予算

☆平成20年度曾於市一般
会計補正予算(第3号)

(賛成 全会一致)

今回の予算は、1億6,593万円を追加し、予算総額は206億7,137万6千円となりました。

歳入の主なものは、豪雨災害に伴う農業用施設災害復旧費県補助金3,784万9千円、大川原峡周辺公園整備事業が国庫補助対象となったことによる農山漁村活性化プロジェクト支援交付金1,742万2千円、また県単急傾斜地崩壊防止事業費補助金400万円、前年度繰越金3,631万3千円、

財政調整基金繰入金3,111万7千円、及び市債3,380万円等です。

歳出の主なものは、株式会社メセナ末吉からの

寄附金2,000万円の

施設整備基金への積立金増資のための畜産振興基金繰出金3,000万円、新規採択に伴う県単急傾斜地崩壊対策事業980万円、試験費用等の追加による小中学校校舎・屋体耐震診断調査業務委託料707万2千円及び豪雨災害に伴う災害復旧費6,111万6千円、また森林・林業振興事業で美しい森づくりの一環として、山桜の苗木300本分、210万円を含む435万円等です。

◎ 水道決算認定

☆平成19年度曾於市水道事業
会計決算認定

(賛成多数)

水道事業は年数経過による施設の老朽化が進んでいる中、安全で安定的な水の供給を図るため、年次の計画に基づいて、改良等に務めてきました。

経営状況は、給水戸数14,288戸、給水人口34,439人、総給水量(有収水量)365万2,671m³で一人あたり使用水量290ℓとなっています。

事業収益は、5億3,458万8,029円、事業費用は4億8,331万1,048円で、純利益は5,127万6,981円となりました。

美しい森林づくり 伐採跡地に桜の



◎意見書

・新たな過疎対策法の制定に関する意見書を可決

現行の過疎地域自立促進特別措置法は、平成22年3月末で期限が切れます。

農村部の過疎地域の現状は、高齢化・少子化の進行と地域活力の衰退、路線バスなどの公共交通機関の廃止、医師・看護師の不足、田畑の耕作放棄の増加、森林の荒廃など、生活・生産基盤の弱体化が進む中で多くの集落が消滅する恐れがあります。

そのため、今なお解決すべく多くの課題が残されている、今後も強力な施設の必要性を痛感しております。引き続き総合的な過疎対策の充実強化を求める意見書をあげるものです。

◎人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者を推薦するため、議会に意見が求められ適任とされました。

持田初穂氏 60歳
(大隅町月野)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の任期が満了となるため左記の委員を選任しました。

大休寺茂氏 70歳
(末吉町南之郷)
谷口憲幸氏 68歳
(大隅町大谷)
鬼丸次雄氏 59歳
(財部町北俣)

☆団体営土地改良事業の施行

(賛成 全会一致)

平成21年度の新規事業採択に向けての取り組みで、大隅町柳井谷地区の基盤整備促進事業を実施するものです。

内容は区画整理9.2haと農業用排水施設整備を4.6haに905mのパイプラインを設置する計画となっています。



大隅町柳井谷地区

○事業概要

- ・事業期間 平成21年度～平成25年度
- ・全体事業費 2億420万円
- ・受益者数 農業用等排水30名・区画整理47名
- ・農業用排水 905m(パイプライン)
- ・区画整理 9.2ha

政を問う



橋元 孝一 議員

農業経営安定対策を

市長／水田裏作の作付け助成を検討する

橋元孝一議員 本市の水

田3,498ha、畑62,360haであるが、農業委員会の調査で遊休農地が約100haである。荒地の把握はしているか。

池田市長 平成20年度は国からの通知を受け、農業技術員連絡協議会の協力を得ながら、市内の全耕作放棄地の実態を一筆ごとに調査・分類し、耕作放棄地解消計画の基礎データを作成する計画である。

問 本市水田で裏作に粗飼料のイタリアンを作付けできる面積はどのくらいあるか。

市長 平成20年度の水稲作付け面積は、曾於市全体で1,880haとなっている。この水田に対するイタリアンの作付けは条件もあるが、平成19年度実績は83haである。

問 水稲の裏作にイタリ

アンを作付けできる水田を必要としている農家に^{あつせん}斡旋することは考えられないか。

市長 農地の斡旋に関しては、農業委員会等を介して行うべきであると考えている。

問 水田の裏作に作付す

る種子代（イタリアン）の助成は考えられないか。

市長 現在最も多く作付けされている品種のワセユタカの種子を含め、どの品種のイタリアンが最も効率的か調査するとともに、水田裏作におけるイタリアンの作付け助成について検討していきたい。

人口減と自治会未加入対策は

問 行政として何か対策をとられたことがあるか。

市長 未加入対策は、転入者については、市民課窓口で自治会長への連絡先を案内し、自治会へ加入して頂くようお願いしている。

また合併前の未加入者



自治公民館建設事業補助金で建設される公民館（末吉町鶴木）

名である。

問 本市の職員で自治会未加入者が何名いるか。

市長 自治会未加入者は現在21名いる。

問 市職員で本市に住所がなく、曾於市民でない職員は何名いるか。

市長 本市に住所がない職員は26人いる。末吉支所は16人、大隅支所は3人、財部支所は7人である。

には、未加入世帯加入促進補助金を交付し推進しており、総合的に対策を協議する内部組織を立ち上げることにしている。市全体の未加入世帯は3,329世帯である。

問 曾於市の教職員は何名で、曾於市に住所をおいている教職員は何名か。

植村教育長 現在小、中学校に329名の教職員がおり、市内に住所をおいている教職員は153

よみがえらせたい遊休農地





大津 亮二 議員

情報通信基盤の整備は

市長／テレビは受信できないところがないように対応したい。



地上デジタル放送中継局（財部町白鹿岳）

大津亮二議員 テレビの地上デジタル放送化に伴い、新たに難視聴になる地域は。

池田市長 21地域640世帯が、新たに難視聴地域になる可能性があるが、受信アンテナの高性能化等により受信可能の予測はある。調査して受信できないところがないように対応したい。

問 地域インターネット基盤施設整備事業（※注1）の事業概要は。

市長 光ファイバーで公共施設接続を計画しているが、国はブロードバン

ド・ゼロ地域解消促進を図っており、県で促進事業に取り組んでいる。本市は県の促進事業を推進し、効率のよい安価なADSL（※注2）対応事業は効果が上がるものと考えている。ただ通信速度が低速であり、それ以上の範囲の解消を模索しなければならない状況である。

問 上町区画整理内の公園整備計画は

市長 「上町にここに公園整備計画について概要は。

園」は、平成17年から19年度にかけて整備した。今後（仮称）麓公園と中道公園を整備の予定。

問 市民プール横の新地公園は平成21年度に計画されているが整備内容は。

市長 区画整理内を優先して整備中で、グラウンドゴルフ場等の運動広場や健康福祉施設等を含め、利用方法を検討したい。

問 公園の名称等について一般公募はしないのか。

市長 検討していきたい。

問 産業廃棄物安定型最終処分場建設計画（南之郷高岡地区）は

市長 産廃処分場の建設計画の経過と計画概要は。

市長 株式会社北諸地区清掃公社が来庁され、概要説明があった。設計書はまだ出来ていないが、面積約4万㎡で埋め立て容量約58万㎡を考えているとのことである。

問 建設予定場所は安楽川上流になるが、曾於市への影響はないか。

市長 がれき類の安定5品目の処分場であり、生活環境保全上支障を及ぼす恐れが少ないものとなっている。

問 計画地は花房峡憩いの森や千年の森構想があり、この地への建設はイメージダウンとなり、千年の森構想の考え方に反するのではないか。

市長 しかし遮水工を設置せず水処理を行わない施設であり、排水が安楽川に流れることから影響がないとは言えない。

問 計画地は花房峡憩いの森や千年の森構想があり、この地への建設はイメージダウンとなり、千年の森構想の考え方に反するのではないか。

市長 自然環境に恵まれたこの地域を生かそうと整備したもので、「イメージダウンにならない」とは言えない。自然環境の保全や景観の維持等どのような影響を与えるか推移を見守りたい。今後地元の意向等十分配慮して意見を述べていきたい。

※注1・地域インターネット基盤施設整備事業 学校、図書館、市役所などを高速で接続する地域公共ネットワークを整備する事業

※注2・ADSL 電話線を使い、高速なデータ通信を行う技術



産業廃棄物安定型最終処分場計画（末吉町高岡地区）周辺地図

敬老祝い金は全員支給を

市長／議会が決定すれば
その方向で検討する



五位塚 剛 議員

五位塚剛議員

敬老の日を迎えるにあたり、お年寄りの願いは、敬老の日に3千円ずつ頂いた方がありがたいと願っている。そのようにできないか。
池田市長 合併協議会で決定されてきた。議会でも条例も予算も議決されてきたので、節目支給で進めていきたい。
問 状況が変わり、議会が全員支給を決定したら、それに従うか。
市長 議会が節目支給をやめ、全員支給を決定すればその方向で検討する。

市道・農道沿いの土手の雑草の有効利用を

問 市内の市道農道の伐採費用は全体でいくらか。
市長 平成19年度で業者、シルバー人材センター、



土手の雑草利用によるたばこ耕作組合の堆肥作り

自治会まで含めて6,186万円、農道は445万円である。
問 毎年合計で6,500万円の経費がかかっている。このカヤやホトクイ等の雑草を牛の飼料や堆肥化はできないか。
市長 現在農家の方も利用しているところもある。この雑草を飼料としての梱包化はできない。堆肥化も施設が必要となるの
できないと考える。

田畑の売買における税の軽減を

問 田畑の売買において、百万円の特別控除制度が廃止され、農業委員会の斡旋^{あつせん}以外は、国保税、介護保険料まで影響がある。独自の軽減策はできないか。
市長 土地売買の一時所得なので課税の方向で進めていく。
問 昨年の大隅のお年寄りの方が介護施設に入っている方が介護料を支払うのに畑を売った。50万円で売ったのに今年は42万円も高い施設料となった。特別な状況なので減免できないか。
市長 現行の介護保険制度では、一時所得の申請減免をできないところである。

地域振興住宅入居と建設

問 7月1日より地域振興住宅の募集があったが、結果は。
市長 市外の方が12名、市内が10名の22名であった。市外の12名のうち、10名を決定した。



大隅町岩川の河原団地

問 市外の方でも今回柳迫を希望したのに、入居できなかった。補正を含めて対応すべきではないか。
市長 今回は子どもの年齢の高い方から選定した。来年度も建設するので応募してほしい。

物価上昇による 経済状況は

市長／農家の経営に多大な影響を
及ぼしている



迫 杉雄 議員

迫杉雄議員

公共施設に

南九州コココーラから地域支援なる自販機設置の要望が出されているようだが、現在、設置されている地元業者などの意向を踏まえてどう対応するのか。

池田市長 以前にもココ



公共施設に設置されている自動販売機

コーラから同様の内容で設置の要望があったが、地元業者育成の観点から断った経緯がある。今回も商工会等との兼ね合いがあるので断った。

問 食糧自給率・飼料自給率・遊休農地に対して、今後どのような施策で対応されるか。

市長 畜産の飼料が、バイオエタノール等の影響を受けている。農地の有効利用の観点から遊休農

地を活用していきたい。現在一筆ごとに調査を行っており、飼料自給率の向上を図る。

問 今後、県内外に先駆けて、飼料米の栽培に取り組み、畜産のまちをアピールすべきではないか。

市長 現段階では飼料米の配合的なもの、栄養価なども不明瞭であること、また転作との兼ね合いもあることから、今は考えていない。

谷元産業経済部長 今後いろいろと調査したいと思う。

問 物価上昇に伴い、市民から市長への提言はどうなっているか。

市長 重油、飼料、肥料等の高騰は、特に農家の経営に多大な影響を及ぼしている。そのため、国、県、市の補助事業や資金の問い合わせ、施設園芸の生産コスト削減のため、省エネ暖房技術の開発の照会等数件ある。

共生・協働のまちづくりは

問 共生・協働のまちづくりが市報の欄で広報されているが、どのように市民に浸透しているか。

市長 共生・協働のまちづくりは、平成19年度から取り組んでいる。この活動を広く市民に理解してもらい活動に参加してもらおうよう、現在まで市報に掲載してきた。

自治会、ボランティア

団体、地域づくりグループ、企業と行政が相互理解と信頼のもと、連携協力して地域の発展に臨む。少しずつではあるが、活動の輪が広がっている。

問 職員による自治会や地域サポート制度はどう考えているか。

市長 各職員が地域にどれだけがんばっているかが、今後も活躍してくれる。



厳しい経営を強いられる畜産農家

原油高騰対策は

市長／国会議員を通して
国へ強く要請していく



原田 賢一郎 議員

原田賢一郎議員 原油高騰対策について、議論検討をどの程度されたか。

池田市長 議論検討は随時行っている。

問 畜産、園芸、茶農家等に対する救済措置をどうとるのか。

市長 畜産については、この危機的状況を見ると市として対応できるものではない。そのため県、市、JA等、関係機関と連携して国会議員等を通して国へ強く要請している。

園芸については、施設園芸農家に対し、園芸振

興補助金を活用した、市の単独支援を続けていく。

茶農家については、燃費の削減効果をもたらすため、ラインの改良や生葉管理装置の改良等を要望し、茶基金の活用等、支援措置を講じていく。

問 目に見える形で、市

独自の救済措置はとれないか。

市長 国の救済措置が、打ち出されたので、生産コストを下げるための増頭または規模拡大をする農家に支援していきたい。市独自にはとれないと思っている。国へのパイプを大きくしていきたい。

霧島市一般廃棄物管理型最終処分場の経過は

問 霧島市一般廃棄物管理型処分場について、大隅町の2会場において住民説明会があったが、そ

の結果を踏まえ市長はどう判断され、今後どう舵を取っていくのか。

市長 現時点で意見を述べることは、総合的に判断し適切でない。説明会の結果を踏まえ、大隅地域住民の考えや思いも十分理解できたので、今後は市民の意見や動向を見極め、議会の意見も聞きながら最終的な考えを示す。

種雄牛造成の現状は

問 肉用牛改良研究所が飼育している種雄牛は何頭で、子牛市場の民間と県有種雄牛の出場割合は。

市長 種牛24頭、種牛待機牛50頭で、人工授精割合の推移は、県有牛39%、民有牛58・5%、その他25%である。

問 肉用牛改良研究所の種雄牛造成の成果をどう認識されているか。

市長 「金幸」が平成10年に脂肪交雑40で全国1位、平成19年「吾平藤」が脂肪交雑（※注1）44で全国1位となり、昨年開催



期待される肉用牛改良研究所

された全国和牛能力共進会で、「宮貞福」が、農林水産大臣賞を受賞しており、今後の活躍が期待されている。

問 購買者から望まれる種雄牛造成をもっと要請できないか。

市長 要望をお願いすることは大事なことである。

池田市政の評価は

問 池田市政の4年目を振り返り評価する点と反省点は。

市長 評価すべき点は、曾於市誕生という重要な時期で地域の均衡ある発展に配慮し、各主要計画を十分踏まえ新生曾於市の形づくりができた。

反省点は職員による不祥事、市の施設内やイベント、また災害復旧工事等での事故が発生した点である。

※注1・脂肪交雑

牛肉の霜降り（サシ）のこと

敬老の意思表示を

市長／感謝と尊敬の思いを強くしている



土屋 健一 議員

土屋健一議員 敬老精神が低下している。市内における敬老会の実施状況は。
池田市長 大隅地区で2校区と30自治会、末吉地区で8校区、財部地区で1校区と41自治会で実施されている。



高齢者とのふれあい活動（財部北小）

問 市として敬老の意思をどう表明されるか。
市長 長年にわたり、社会貢献された方々の長寿を喜んでいる。70歳から節目にお祝い金を支給する。
問 学校教育で敬老精神の高揚は図られているか。
植村教育長 極めて大切な問題。道徳教育により敬愛する心、家族を想う心を育て実践力の育成に努めている。高齢者を招

いての学習、施設訪問、年賀状活動等積極的に行っている。今後も敬老精神が高まる教育に努める。
問 各自自治体における敬老祝い金の状況は。
市長 県内46市町村で70歳からの節目支給は本市と十島村。80歳からの節目支給が多い。全員支給は80歳以上が多く、離島がほとんどである。
問 お年寄りへの市長メッセージを。

市長 長年国と郷土のために尽くされたことに感謝と尊敬の意を表し、長寿をお祝いし末永いご健康とご多幸を祈る。

公園・市道の管理は

問 公園の機能は保たれているか。定期的に調査されているか。
市長 都市公園の13カ所や運動公園、各名所も広場や遊具を備え、積極的に利用されている。遊具は年1回の点検を委託している。便所の清掃や紙の補充は随時行っている。十分な管理に努める。

問 市道の歩道がヤブになっているところがあるか。
市長 市街地から離れたところに見られる。夏場は作業が追いつかない。散歩やジョギングが多いところは、早急に対処する。

乳幼児医療費の自己負担を都城市と同じに

問 小児科は都城市内の病院を利用する市民が多

い。自己負担の取り扱いは都城市民が恵まれているのではないか。違いを認識されているか。
市長 曾於市は全額支払った自己負担分を後日払い戻す方式。都城市は350円だけを支払えば、残りは市が医療機関へ支払う方式となっている。

問 都城方式に改善する考えはないか。
市長 県によって異なる。鹿児島県の方針もある。

問 県境に住む住民の実情を理解できるか。早急に検討できないか。
市長 十分理解できる。できるだけ早く検討したい。



幼児の診察風景

原油・飼料・物価高、なぜ積 極的支援策をとらないのか

市長／多大な費用は
国にお願いしている



徳峰 一成 議員

徳峰 一成議員 6月、9

月市議会とも市長は市民の暮らしを守る積極支援策を、なぜ行わなかったのか。

池田市長 多大な費用を要するものは、国へお願いし、市は計上しなかった。

問 市長は厳しい市民生活に対する受け止めが、大変弱いではないか。いまだに市はプロジェクトチームすら作っていないではないか。

市長 今後は作る方向で進めたい。
問 積極支援策を行う財

源の支出は、いくら可能か。

市長 財源は予測していない。

問 農業機械などに課税している年間数千円のもの

償却資産(※注1)は、減税していくべきではないか。

市長 財政が厳しくできない。

問 市民税や固定資産税、国保税の減免規定は、実情に合わず適用例がない。

今年のお茶農家は4割減収である。減免規定を見直し、農家や市民に対して弾力的に運用すべきではないか。

市長 検討したい。

問 思いやりタクシーや市から原油を購入している業者が赤字の場合、市は業者の保護を行うべきではないか。

中山副市長 12月頃を目途にそうしたい。

敬老祝い金の全員支給を

問 1万人を超える署名を尊重しない、あるいはアンケートをとる意志もない。これでは市長は市民を軽視していることにならないか。

市長 節目支給は、合併協議会や議会で決まったことであり、それに従っている。

職員の意見を考慮に入れた人事異動を

問 合併後のわずか3年間に、2回異動の職員が50人、3回異動の職員が13人の異動がみられる。職員の意見を考慮に入れた異動に変えるべきではないか。

市長 今後ご指摘の意見は、頭に入れて考えていきたい。

問 職員のあらゆる意見を聞き職員をよく知ることとは、市長にとってもマインナスにならない。今後検討して頂きたい。

また定年を前にした課長や職員の異動がみられる。これは考え直すべきではないか。

市長 今後十分配慮していきたい。



市の委託を受けている思いやりタクシー



曾於市役所本庁舎2階風景

※注1・償却資産

工場や商店の経営、農業をしている方が、その事業に用いることのできる施設、機械、器具、備品のこと

畜産の振興は

市長／5項目で補助を実施している



松田 司 議員

松田司議員 原油の高騰により農畜商工業並びに市民に大変な影響を与えている。現在の畜産状況をどう捉え、その対策はどう考えているか。

池田市長 農業用資材や配合飼料の高騰により厳しい状況である。特に肥



飼料稲のニシアオバ（末吉町深川後迫）

育養豚養鶏農家にとっては、大変厳しい状況にあると思う。酪農肉用牛生産農家においては、粗飼料、自給飼料の生産拡大を推進し、コスト削減を図るよう指導していく。また、支援策として、県に要請していきたい。

問 現在、配合飼料の価格高騰により、肉用牛や酪農経営に多大な影響を与えている。飼料作物の生産拡大も有効である。

休耕田等に飼料用稲も含まれた自給飼料の増産に向けた対策が必要ではないか。

市長 旧末吉町で県内で初めて試作した経緯もあり、今後検討していく。現在も作付けしている農家もあるため、飼料用稲は転作として認められているので普及を検討する。

問 高齢化や配合飼料の高騰、子牛の価格低迷が生産農家の意欲の減退が

考えられ、思い切った政策が必要ではないか。

市長 現在、曾於市単独事業を実施し、曾於市畜産振興協議会の支援策として、5項目で補助を実施している。

問 畜産農家の平均年齢67歳、飼養頭数10頭以下が8割である。小規模畜舎改善素牛導入増額補助、80歳以上の引付補助の増額など考えられないか。

市長 前向きに検討したい。

農産加工施設の整備について

問 大隅町に南地区農業構造改善センターと婦人の家があり、2カ所とも管理指導者も不在のため利用者も少ない。北校区公民館では、平成18年7月13日付で、市長宛に施設整備について陳情書が提出されているがその対応策は。

市長 市内全施設が築20年をすぎているので、総合的に検討していく。

問 曾於市内に7加工施

設があり、末吉町は3カ所にとともにシルバー人材センター委託で管理。管理者、指導者各1名、財部町指導者1名、大隅町管理指導者なし。平成19年度施設利用者数は財部1,176人、末吉5,628人、大隅1,899人。合併して3年2カ月がす

ぎているが、安心安全な加工施設の整備管理が必要ではないか。

市長 現在まで旧町の継続で管理していたが、今後見直す必要があるのので検討したい。



加工場でのみそづくり（末吉町深川研修センター）

生産資材高騰による 農家への支援策は

市長／園芸振興事業で対応する



瀬戸口 三郎 議員

瀬戸口三郎議員 肥料、

重油や生産資材の高騰と農産物価格の低迷により、苦しい農家経営が強いられているが、その対策をすべきではないか。

池田市長 園芸農家等への支援は市単独の園芸振興事業で今後も対応していきたいながら、貸付金の利子補給事業等も必要があれば12月議会で予算措置していく。

問 圃場ごとの土壌診断を強化すべきではないか。

市長 不必要な肥料投入の低減につながり大事だと思われるので、職員



重油高騰が心配されるハウス農家

増加も加えて強化する。

問 肥料、農薬の畦間施肥の機械導入に助成はできないか。

市長 トラクターのメンテナンスは、多種多様

であることから対象としていない。県が認定する認定農家であれば制度資金もある。

問 ハウスの省エネ対策に取り組めないか。

市長 原油価格の高騰による燃料費の増加が、施設園芸に大きな影響を及ぼす恐れがあり、支援していきたい。今後全力を尽くして、畑かんをいかしてハウス園芸の振興に取り組む。

問 有機センターの堆肥を当分の間、50%の補助率として普及できないか。

市長 今、利用者が増加しているが、今の20%を50%の助成については、利用状況を見ながら判断していきたい。

また、今までは畜産を中心に取り組んできたが、畜産の排泄物の処理も合わせながら、今後園芸等の耕種作物の普及に力を入れる。

食育と消費拡大は

問 市内の飲食店の活性化への取り組みと、地元農産物の消費拡大を合わせて進めるべきではないか。

市長 飲食店と地産地消を進めるべく、県が進めている。推進店の登録を市内にもっと増やして活性化していきたい。

問 学校での食育の一環として、農業理解事業や学校給食での地場産の利



現在、市唯一の店（財部町古里庵^{こりあん}）

用も含めて取り組むべきではないか

植村教育長 学校においては、楽しい食事や給食活動を通して豊かな心を育成することは、極めて主要なことであり、積極的に推進していく。

は、給食への地場産の活用や各学校の食に関する取り組みを積極的に支援し、食育の充実に努めていく。

体験活動や栄養教諭による栄養指導をしながら、市教育委員会として

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

文教厚生、建設経済常任委員会は、閉会中の所管事務調査を実施しました。また、9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（渡辺利治委員長）

☆曾於市施設整備基金 条例の制定について

問 他との整備修繕費等の違いは。

答 曾於市が指定管理を委託している施設より益金の寄附で基金を積んでいる。そのお金で指定されている施設のみの整備費である。

☆曾於市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例 一部を改正する条例 ☆曾於市特別職報酬等審議会 条例の一部を改正する条例

3 条例はいずれも文言の整理等であり、議員報酬の手当等が発生するものでなく、今までと同じである。

☆平成20年度曾於市一般会計 予算の補正について(所管分)

問 消防機材修繕料100万円の使途は。

答 小型ポンプの修繕料が、40万円位で、残り60万円は今後想定される修繕費として使う。

問 電源立地対策交付金ほどのようなものか。

答 月野発電所が1,000キロワット以上の施設であり、大隅町八合原地区の排水対策工事に充当され、今年度分は510万円となる。

問 思いやりふるさと寄附金の動向は。

答 垂水市204万円、志布志市は0円であり、全国では2億円である。

本市は県と市を合わせ、53万6千円である。

問 今回の賦課徴収費の住宅税基幹システム改善業務委託料の人数は。

答 約1,600人を見ている。

問 住民税の納税対象者はどれだけか。

答 普通徴収9,504



電源立地対策交付金による排水工事（大隅町八合原）

郵政民営化法の見直し に関する陳情書

人、特別徴収6,943人である。

に支障が生じないように法的な見直しを含め、郵政3事業が一体のサービスとして、運営されるべきであると意見の集約を見て採択して関係機関へ意見書の提出を行った。

本陳情は、委員会審査において、郵便、貯金、保健のサービスが将来とも郵便局において、確実に提供され、国民の利便

☆所管事務調査

（調査事項）

・資源循環型社会への取り組みについて
 ・ごみ処理施設の運営について

（内容）

・福岡県大木町
 おおき循環センターでは、これまでゴミとして焼却・海洋投棄してきた有機物（生ごみ、し尿、

浄化槽汚泥）をメタン発酵処理、発生させたメタンガスを燃料にして電気や熱エネルギーを発生させ、施設内利用、また発酵を終えて残った消化液を有機液肥として農地に還元しており、市民・事業者・行政が一体となった資源循環のまちづくりが行われていた。

・福岡県筑紫野市
 「クリーンヒル宝満」は、筑紫野・小郡・基山



筑紫野市「クリーンヒル宝満」

清掃施設組合により清掃事業を展開している最新鋭の設備で、1日125トンの処理能力を持つ高温ガス化直接溶融炉を2基備え、溶融物の資源化と熱回収による発電と給湯を実現していた。

☆平成20年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

問 末吉老人福祉センター施設修繕費として57万7,000円が計上されているが、整備内容と建物の老朽劣化状況は。

答 屋上からの雨漏りが原因で、和室天井部がはがれているため屋上防水及び天井を補修する応急的な修理である。建物は、すでに30年を経過しており経年劣化が進んでいる。

問 末吉総合センターの舞台吊物点検委託料の増は。

答 国の指導に基づく指針で点検回数が使用頻度により示され、当施設は

年間30回以上利用されており安全面を考慮して、点検回数を年4回に増やした。

問 大隅中学校通学バス運行事業（債務負担行為）の補正が計上されているが、財部町における通学バス運行委託に対する措置は。

答 債務負担行為は、平成21年度から23年度分であり、今回の補正は燃料高騰に伴うものである。財部町の通学バス運行委託については、今後燃料の価格変動影響度を調査していきたい。

☆平成20年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について

問 後期高齢者支援金分について問い合わせが何件あったか。

答 保険料に関すること、納付方法に関することなど342件の問い合わせがあった。

問 平成21年度以降の予算編成について。

答 基金残高の状況から、平成21年度まではなんとか予算編成できると思っているが、後期高齢者支援金など、先の見通しが立たないところもあり、平成22年度以降は厳しい財政状況が予想される。



老朽化している末吉老人福祉センター

☆平成20年度曾於市老人保健特別会計予算の補正（第2号）

平成20年2・3月実績等に伴う電算共同処理委託料の増額がおもなものである。



市営住宅調査（大隅町中野団地）

ついて今回7月29日に現地調査を行った。

市有住宅計1,147戸の住宅を団地ごとに現地調査を行い、入居者状況及び周辺の環境、建物の状態管理について調査を行った。

☆曾於市有住宅条例の一部を改正する条例の制定について

昭和43年度に建設された笠木団地（大隅町中之内）の市有住宅1戸の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 用途廃止の状況について
答 本年度については、用途廃止を行い、跡地については地域振興住宅を建設する。

☆団体営土地改良事業の施行について（柳井谷地区）

問 現状の圃場を見ると同じような形態である。今回、全圃場整備に取り組まないのか。

答 今回を機に全圃場整

備に取り組むよう指導したが、水利形態の違いにより、地権者がパイプラインだけ取り組みたいと強い要望があり、このような計画となった。

☆平成20年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

問 畜産振興基金運用状況について
答 平成20年8月まで655頭貸付している。

問 農地・農業用施設災害復旧について
答 年内で終わる計画であるが、災害の大きな場所は、平成21年1月にずれ込むところがある。

問 電源立地地域対策交付金事業で、八合原線の排水整備事業は何年度までか。
答 平成22年度までである。



災害調査（大隅町梶ヶ野）

「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書」の採択要請について

取り組みが極めて重要となつていくことから、採択すべきものと決定した。

公益森林の整備に対する公的機関の役割の強化、さらには過疎化、高齢化が進む中で、森林・林業の担い手である山村の再生に向けた積極的な

☆所管事務調査

○農林業・畜産振興に関する調査

（調査の内容）

平成20年度曾於市秋季畜産品評会が各支所で開催され、曾於市の代表として合計49頭が曾於地区畜産共進会に出品することになった。

○市営・市有住宅調査

（調査の内容）

曾於市内の市営・市有住宅調査を平成20年4月28日に行い、未調査分

故人の功績をたたえ 慎んでご冥福をお祈り致します



故 大休寺守 氏

平成 20 年 9 月 3 日亡くなられた、市議会議員 故大休寺守氏(享年 61 歳)は、平成 11 年 4 月末吉町議会議員に初当選され、産業経済常任委員会副委員長等を歴任され、合併後は曾於市議会総務常任委員会副委員長として、住民福祉の向上と市政発展に寄与されました。



故 山下千弘 氏

平成 20 年 10 月 6 日亡くなられた、市議会議員 故山下千弘氏(享年 67 歳)は、昭和 52 年 4 月末吉町議会議員に初当選され、議会運営委員会委員長を 10 年務め、合併後は曾於市議会建設経済常任委員として、住民福祉の向上と市政発展に寄与されました。



私たちは今こそ将来を守る子どもたちのために、水田と自然を安心して残せるように市民の皆様と一緒に考えていきたいものです。(五位塚)

編集後記

議会だよりが、市民の皆さんの手元に届く頃には、米の収穫も終わり新米を食べておられる方もいらっしゃることでしよう。しかし、今年の稲刈りは、多くの農家で倒伏など心配されたようです。

地球温暖化が言われるようになり、台風の発生状況などに少しずつ影響が出ているのかもしれない。

**私たちが
作っています**

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



**議会広報等調査
特別委員会**

- 委員長 大川原主税
- 副委員長 原田賢一郎
- 委員 八木 秋博
- 委員 大川内富男
- 委員 吉村 幸治
- 委員 五位塚 剛
- 発行責任者 坂口 幸夫